

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	09	01	03	0401	消防団員育成強化事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-3	防災危機管理体制の充実			
	施策	3	消防力の強化			
目的	市民の防火意識の高揚及び団員の資質・技術の向上					
対象	消防団員					
意図	市民の防火意識の高揚を図り、また団員の災害時に必要な技術を習得させることにより発災時の安全・迅速・確実な活動により被害の軽減につなげる。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
○消防学校への入校	定期的に消防学校に入校することにより、消防に必要な知識・技術を習得する。					
○研修視察の実施	消防団組織・団活動の先進地を視察し、今後の消防団組織のあり方を検討する。					
○消防演習の実施	訓練成果を披露し、市民からの消防団への関心を高め充足率の向上及び防火意識の高揚を図る。					
○活動用資機材等の更新	現場活動で摩耗した消防ホースや被服等を更新する。					
市民参画の有無	〔 対象外 〕					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会			○事業協力・協定	
	後援・協賛	補助・助成			委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
① 消防学校入校人員	人	計画	30	22		
		実績	25	20		
② 消防演習参加団員	人	計画	1,820	1,300		
		実績	1,352	1,293		
③		計画				
		実績				
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
① 消防団員充足率	%	目標	100.0	93.0		
		実績	90.8	90.5		
②		目標				
		実績				
③		目標				
		実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
【H26成果指標の設定根拠】 消防団員の定数は条例により2,142人と定められているが、平成26年2月1日現在1,959人である。最終的には充足率100%を目標とするものであるが、平成25年度から実施している消防団員募集のPR等を強化し、平成26年度は各分団3人から4人の増員により、おおよそ75人の新規入団員を確保を目標とする。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 ○ 妥当である 見直し余地がある 妥当でない
有効性	成果の向上余地 ○ 向上余地がある 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある ○ 適正である
総合評価 …上記評価結果の総括	
定期的な消防学校への入校、研修視察の実施により、団員一人ひとりの知識・技術の向上はもちろんのこと花巻市消防団としての組織力の向上が図られる。また、消防演習等による日頃の訓練成果の披露や、商業施設で実施する消防団員募集PRにより地域防災の要である消防団員の活動・必要性が浸透し新規入団数の向上が期待できる。	

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	09	01	03	0401	消防団員育成強化事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			7,927		
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		7,927		

事業期間	○ 単年度繰返	期限限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部経営方針における目標
消防団の充実強化を図る。

事業開始の背景・経緯
消防団員数は年々減少傾向にあり、また団員の高齢化が進んでいる。それらを打開すべく地域防災の要である消防団の活動を市民にPRし新入団員数の増加、充足率の向上を図ろうとするもの。また既存団員に対する教育を充実させ、より迅速、より安全な現場活動を展開する。

事業概要
○消防学校への入校
定期的に消防学校に入校することにより、消防に必要な知識・技術を習得する。
○研修視察の実施
消防団組織・団活動の先進地を視察し、今後の消防団組織のあり方を検討する。
○消防演習の実施
訓練成果を披露し、市民からの消防団への関心を高め充足率の向上及び防火意識の高揚を図る。
○活動用資機材等の更新
現場活動で摩耗した消防ホースや被服等を更新する。

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

消防団PRの為に消防団行事に訪れる市民の数を増加させなければならない
↓
行事に訪れる「楽しみ」を持たせる。また、PRできる機会を増やす。
↓
「消防フェスティバル」の同時開催。露店の出店。消防団行事以外(商業施設等)でのPR活動。

担当部署 部名 消防本部 課名 総務課 担当係長 三浦啓一 内線 376

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

(1) 消防団員への教育、研修 **1,004** 千円 前年比 **▲296** 千円

◇ 消防学校入校…208千円

分団指揮課程	分団指揮者として管理運営、活性化に資する広い知識と各種災害発生時における分団の管理運営及び効率的な現場活動の在り方を理解する。
現場指揮課程	大規模災害時に現場指揮者として、各種災害に係る的確な現場指揮及び安全管理の知識及び技術の習得と自主防災組織に対して指導を行える。
初級幹部科	消防団の運営に必要な規律、安全管理の重要性について理解するとともに地域住民に対して防災指導が行えることを目的とする

※H25年度までは0101一般行政経費に計上

◇ 視察研修…796千円
他市の消防団組織や団活動を視察し、花巻市消防団の今後のあり方の検討材料とする。

(2) 消防演習の実施 **2,762** 千円 前年比 **1,174** 千円

◇内容 各種訓練(小隊・中隊・ラップ・ポンプ操法・応急給食)、放水試験、防ヘリ訓練
幼年消防クラブ演技等

◇時期 平成26年6月

◇場所 第1会場(北東金属グラウンド)・第2会場(上町)・第3会場(北上川河川敷)
*H25は第3会場のみ

◇経費 会場設営等(中州架け橋・煙火・花火・除草)、借上(音響設備・送迎バス)
参加団体謝礼、炊出し食材・放水試験水着色剤・看板等

◆主な増額要因
謝礼 63千円増…第2会場(上町)分列行進に高等看護・小学生金管バンド参加
消耗品 122千円増…放水試験水着色剤
食糧費 760千円増…演習参加団員昼食弁当
会場設営 170千円増…除草業務(第1会場及び駐車場増)
借上 121千円増…送迎バス39千円増(参加団体 3団体→4団体)・音響設備23千円増
仮設トイレ59千円増

(3) 消防団員活動装備 **4,161** 千円 前年比 **▲27,535** 千円

◇内容 現場用ホース 40本(更新) 1,102千円
ラップ隊用
ドラムスタンド(新規) 148千円
信号ラップ(更新) 97千円
被服 活動服・絆天等(更新) 2,281千円